

# 令和3年12月八戸市議会定例会一般質問(教育委員会事務局分)

(12月6日、7日、8日 3日間)

## ○12月6日(月)

会派・議員名	発言事項	発言の要旨	担当課	頁
公明党 高橋 正人	2 防災行政について	(3) 災害時の学校における無線LANの一般開放について	総合教育センター	1

## ○12月7日(火)

会派・議員名	発言事項	発言の要旨	担当課	頁
公明党 中村 益則	2 観光政策について	(2) 是川縄文館と旅行会社との連携について	是川縄文館	2

## ○12月8日(水)

会派・議員名	発言事項	発言の要旨	担当課	頁
自由民主・市民クラブ 山之内 悠	1 教育行政について	(1) 顧問選沢制について	学校教育課	3
		(2) 八戸市小学校スポーツ活動・中学校運動部活動指針の見直しについて	学校教育課	5
	2 教育行政について	学校における校則等の見直しについて	教育指導課	6



## 資料（提出様式）

質問者(議員名)	高橋 正人 議員
発言事項	2 防災行政について
発言の要旨	(3) 災害時の学校における無線LANの一般開放について
質問内容	災害時の学校における無線LANの一般開放について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○国が示した「GIGAスクール構想の実現」を受け、令和2年度の「校内通信ネットワーク環境整備事業」で、市立全小・中学校の校内どこにおいても高速大容量ネットワークが利用できる環境を整備した。</p> <p>○さらに、接続可能な端末を制限するなどのセキュリティ対策を講じることで、児童生徒が安全に利用できる通信環境を構築した。</p> <p>○教育利用を目的として設置した校内通信ネットワークではあるが、災害時において電力が十分に確保されている場合には、総合教育センターから各学校の設定を変更することにより、一般開放が可能となる。</p> <p>○市教委として災害時にネットワークを一般開放することは、避難者の安否確認や災害情報の収集等、子どもたちの生命を守り、地域の避難所となる安全・安心な環境整備に向け有効であると考えている。</p> <p>○今後は、防災担当部署と連携を図りながら、災害時における無線LANの一般開放の早期実現に向け取り組んでいく。</p>
担当課	総合教育センター

## ◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

## ◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	<p>今後は、一般開放する際の指揮系統や実際に設定変更を行い、住民が利用できるのかを確認してみることも必要であると考えている。</p> <p>早期実現に向けて尽力することを要望する。</p>

## 資料（提出様式）

質問者(議員名)	中村 益則 議員
発言事項	2 観光政策について
発言の要旨	(2) 是川縄文館と旅行会社との連携について
質問内容	誘客促進の一つとして旅行会社と連携をする考えがないか伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○是川石器時代遺跡を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」は本年7月に世界遺産となり、旅行会社にとって世界のブランドである縄文遺跡群は注目のコンテンツとなっている。</p> <p>○旅行会社企画のツアーは、コロナの影響による休館を終えた本年10月は20件で、コロナ前の令和元年と比べて約4倍、11月は30件で約3倍となっており、世界遺産効果が顕著に表れている。</p> <p>○現在、是川縄文館では、旅行会社提案による縄文遺跡群全体の旅行企画に参画しているほか、鉄道会社やバス会社との連携企画に協力するなど、誘客に努めている。</p> <p>○本年度は市内向けPRとして世界遺産・是川石器時代遺跡をイメージしたラッピングバスの運行や、コロナの影響により車を利用する旅行者の増加を見据え、「道の駅」の雑誌へ広告を掲載いる。更に、首都圏へ向けたPRとして、全国版の旅行雑誌と、それに連動したインターネットでの広告掲載を予定している。</p> <p>○次年度以降は、魅力発信事業として、仮想現実いわゆるVRを活用した遺跡の紹介や、世界遺産に対応した内容の展示改修を検討するなど、世界遺産効果が一過性ではなく、将来にわたって持続するよう、より多くの方に縄文の価値や魅力を伝えるための情報発信に努めるとともに、旅行会社との連携についても、検討している。</p>
担当課	是川縄文館

## ◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

## ◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

## 資料（提出様式）

質問者(議員名)	山之内 悠 議員
発言事項	1 教育行政について
発言の要旨	(1) 顧問選択制について
質問内容	「顧問選択制」について、市教育委員会の考えを伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○部活動は異年齢との交流の中で、生徒同士や生徒と教員等との好ましい人間関係の構築を図ったり、生徒自身が活動を通して自己肯定を高めたりする等、多様な学びの場を提供しており、その教育的意義から職員も多忙な業務の傍らで献身的に顧問を務めているものと理解している。</p> <p>○現在、職員が顧問を希望する・しないを選択できる顧問選択制をとっている学校はない。</p> <p>○実際には、職員に希望する部活動を校務分掌等希望用紙に記入してもらい、最終的に校長が決定し、顧問をお願いしている状況である。</p> <p>○その際、専門的な技術指導の可否や競技経験の有無の他、職員の健康状態や家族の状況にも配慮するとともに、一人の職員の負担が過重とならないよう、複数の顧問を配置して負担軽減を図っている学校もある。</p> <p>○しかし、近年、少子化が進み、当市においても生徒数や教員数が減少する中、更に顧問を選択制にした場合、現在の部活動の維持が極めて困難になることから、現時点で顧問を選択することは難しいと考えている。</p> <p>○市教委としては、4名か8名へ増員した部活動指導員の更なる拡充を要望するとともに、外部指導者の活用を推進する等、職員の負担軽減に向けて今後も取組を進めていく。</p>
担当課	学校教育課

## ◎再質問

再質問の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	「ハッシュタグ教師のバトン」について教育長の所見を伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○文科省の「ハッシュタグ教師のバトン」はツイッター等を利用し教職の魅力の向上に向けた工法の充実を図るための取組であると理解している。</p> <p>○この中には休日の部活動の対応など負担を訴える意見もあり、改めて大きな問題であると感じている。</p> <p>○教員には心身ともに健康な状態で子供たちと向き合い、教育活動に取り組んでほしいと願っている。</p> <p>○市教委では、負担軽減のため部活動指導員配置や複数顧問制に取り組んできたが、今後も子供達や教員にとってよりよい環境となるよう支援に努めていく。</p>

## ◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	<p>○関係機関と連携し、指針改定の検討委員会を設置していただきたい。</p> <p>○顧問を強要しないよう学校へ指導してほしい。</p> <p>○顧問を希望しない教員の代わりとして、部活動指導員の設置を大幅に拡充してほしい。</p>

## 資料（提出様式）

質問者(議員名)	山之内 悠 議員
発言事項	1 教育行政について
発言の要旨	(2) 八戸市小学校スポーツ活動・中学校運動部活動指針の見直しについて
質問内容	中学校の部活動地域移行に向けた検討会議を開く予定があるか。また、指針の見直しを行う予定があるのかを伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○現在、文部科学省では、学校の働き方改革を踏まえた部活動改革を進めており、その第一歩として、令和2年9月に「休日に教師が部活動の指導に携わる必要がない環境を構築することをめざし、令和5年度以降、休日の部活動を段階的に地域に移行する」との方針を示している。</p> <p>○これを受けて県教委では、拠点校を指定して、休日の部活動の地域移行についての実践研究を行っているところであり、今後、各市町村担当者を集めて成果や課題等についての説明会を開催する予定であると伺っている。</p> <p>○本市においても、実践研究や他自治体の先行事例などをもとに研究を進め、「休日の部活動の段階的な地域移行」に向け検討していく。</p> <p>○その中で、「休日の部活動の段階的な地域移行」が円滑に進むよう、有識者を交えた検討委員会を開き、本市の現状や課題を踏まえた持続可能な部活動の実施方法等について協議していく。</p> <p>○併せて、指針の内容についても、現在までの成果と課題について整理するとともに、先に述べた「休日の部活動の段階的な地域移行」を踏まえて、必要に応じて見直しを図る。</p> <p>○市教委としては、学校の働き方改革を推進するとともに、部活動が児童生徒や教員にとって、より望ましいものとなるよう引き続き環境整備等に努めていく。</p>
担当課	学校教育課

## ◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

## ◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

質問者(議員名)	山之内 悠 議員
発言事項	2 教育行政について
発言の要旨	学校における校則等の見直しについて
質問内容	当市の学校における校則等の見直しに関する取組状況について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○校則については、平成22年に文部科学省が作成した生徒指導提要において、学校が教育目的を達成するために、児童生徒が遵守すべき学習上、生活上の規律として必要かつ合理的な範囲内において定めるものであると示されている。</p> <p>○児童生徒が心身の発達の過程にあることや学校が集団生活の場であることなどから、これまでも市内の多くの学校では、「校則」ではなく、「学校生活の約束事や心得」等の名称によって、学校や地域の実情に応じたきまりを定め、適宜、見直しを図りながら、適切な指導に努めてきた。</p> <p>○市教委では、令和3年6月に文部科学省がまとめた「校則の見直し等に関する取組事例について」を、各学校に紹介するとともに、学校を取り巻く社会環境や児童生徒の状況の変化等に応じた見直しが必要であることを、校長会を通じて周知している。</p> <p>○これらを受けて、各学校では、既に「学校生活の約束事や心得」等を見直したり、見直しの検討を進めたりしている。</p> <p>○具体的な取組事例としては、これまで児童の成長に合わせて、その都度購入し、保護者の経済的な負担が大きかった学校指定の体操着の着用を義務化せず、保護者の判断に委ねた小学校も見られる。</p> <p>○また、中学校では、生徒が1人1台端末の持ち運びをしやすいよう、通学用リュックのサイズや素材等の見直しをした学校もある。</p> <p>○さらに、毎年、生徒総会において、学校のきまりやルールについて話し合い、生徒主体で約束事や心得の見直しを図っている中学校もある。</p> <p>○学校における校則等の内容については、児童生徒の実情、保護者の考え方、地域の状況を踏まえているかなどの視点で、絶えず積極的に見直していく必要があると考えている。</p> <p>○市教委としては、今後も、児童生徒が、よりよい学校生活を送るために、校長会や学校訪問等を通じて、学校の特色を生かしつつ、創意工夫をした事例を紹介するなどして、各学校の校則等の見直しに関する取組を支援していく。</p>
担当課	教育指導課





## ◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

## ◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	学校の判断で、校則の見直しが可能であることから、各学校において、保護者の経済的な負担や児童生徒の状況の変化等を考慮しながら柔軟に校則を変えられるよう、引き続き、校長会等を通じて、取組事例を紹介するなどして、各学校の校則等の見直しに関する取組を支援していただきたい。